

平成20年・年頭所感

日本LPガス協会
会長 石黒俊雄

新年明けましておめでとうございます。平成20年の新春を迎えるに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

さて、昨年はLPガス業界にとって重要な一年であったと思いません。

まず、エネルギー政策面では、「エネルギー基本計画」の改定が3月に閣議決定され、この中でLPガスは、調達から利用に到る各政策分野でさらに明確な位置付けがなされました。特にLPガスの災害に強い点が明確に示されております。この3年間の業界の取組が一定の評価を受けたものと思っております。

次に、環境面では、LPガス業界も、省エネルギー法に基づいて特定荷主や特定輸送事業者として定期報告を開始し、また日協環境自主行動計画が政府の要請に応じて審議会フォローアップ活動へ参加する等、エネルギー事業者として地球温暖化対策に積極的に取り組んだ1年でした。

一方、安定供給面では、LPガス国家備蓄基地の建設が順調に進められ、一昨年までに七尾、福島、神栖の地上3基地が完成し、今年の3月までには、3基地で65万トンの国家備蓄体制が構築されることとなります。元売業界と致しましては、国家備蓄基地の操業に側面からお役に立って行きたいと考えております。

価格面では、1年を通して輸入価格が高騰致しました。今年も輸入価格は引き続き高価格で推移することが予想されます。エネルギー間競争がますます厳しさを増す中で、販売事業者の皆様にとさらに厳しい状況を強いることになっておりますが、何卒ご理解をいただきたいと思っております。元売といたしましても、輸入基地や二次基地施設の共同利用等の合理化を積極的に進めコスト削減に努めているところです。

保安面では、昨年は上流から下流まで事故が増加致しました。これらの事故は、これまで長年に亘って築き上げてきた安全・安心といったL Pガスの根幹である「お客様の信頼」を揺るがすこととなります。

ガス機器によるCO中毒事故等が社会問題化する中で、ガスこんろへの全口安全装置搭載の義務づけが10月1日から実施されます。

L Pガス業界としても、お客様の信頼を確保するため、原点に立ち戻り、一丸となって事故撲滅に向けた活動を展開し、安全・安心を揺るぎないものにしていかなければならないと思っております。

また、昨年は不幸なことに「新潟県中越沖地震」が発生いたしました。関係者のご尽力もあり、結果的にはL Pガスに関連した大きな被害がなかったことは不幸中の幸いでした。

ところで、当協会は昨年10月、エネルギー政策の変化や日本L Pガス団体協議会の組織・体制強化を受けて同協議会ビジョンとの重複部分等を避けるため「2010年に向けたビジョン」の見直しを行い、「2012年に向けたビジョン」を策定しました。この見直しによって、当協会は昨年までの「L Pガスの需要拡大」から元売団体本来の活動に絞り込み、「安定供給」「環境」「保安」に重点をおいた目標で活動を展開することいたしました。

平成20年の当協会は、独立したエネルギーに相応しい活動を展開していくため、以下の項目を最重点課題と定め、取り組んでいきたいと考えています。

国際的な需給動向を踏まえた安定供給への対応
地球温暖化対策に向けた環境への取組み強化
事故撲滅に向けた保安活動の展開

特に、環境に関しましては、今年のスローガンを「L Pガスが担う環境への貢献」と題し、環境への取組みを強化しようと思っております。本年7月開催予定の洞爺湖サミットでは主要議題が地球温暖化対策になるとみられていますが、当協会としては、環境関連の組織体制の見直しを行い、自主行動計画の目標達成やL Pガスの環境

性の良さの根拠データを明確にして大々的にアピールする等、積極的に環境に貢献していきたいと思います。

一方、業界全体の活動としては、「人と地球にスマイルを」プロジェクトが、今年も継続が決まり5年目を迎えます。ご高承のとおりプロジェクトは、LPガスの需要拡大を目指して「環境・省エネで需要を創造」をキーワードとして活動しております。今年は、地域需要開発の取組みへの支援や地域との情報交換会等で地域への定着化を図るとともにウイズガス・コラボ事業への参加を通してアピールを拡げて行こうと思います。

2010年度のLPガス業界普及目標は、ガラストップコンロ785万台、エコジョーズ150万台、エコウイル6万台を掲げその達成に向けて、今年も積極的な活動をしていきたいと思います。

また、LPG車については、京都議定書に折り込まれた26万台の普及を達成すべく全国各地で試乗展示会・セミナー等を実施しております。今年も、2005年に策定した「2010年LPG車26万台普及に向けたビジョン」達成のため、LPG車を他の低公害車と同等に扱って頂けるよう活動を行い、業界が率先してLPG車の普及に尽力していきたいと思います。

関係各位には、今年もご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。益々のご発展とご健勝を祈念致しまして新春のご挨拶とさせていただきます。

以上